

ものづくり de 教育

Vol. 20.5 24th.July.2010

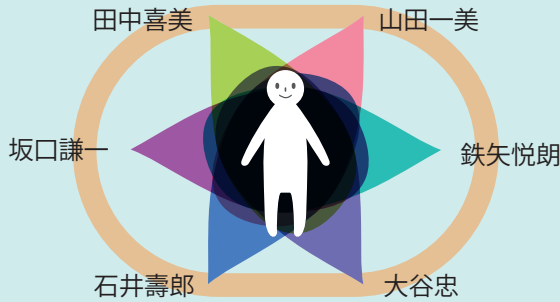
Topics

- ものづくり教育選修の内容のご紹介
- 4年間のカリキュラム
- ワークショップのご案内

東京学芸大学教育学部
小学校教員養成課程
《ものづくり教育選修》
オープンキャンパス
特別号!!!

2010年4月、東京学芸大学ものづくり教育選修 始動!

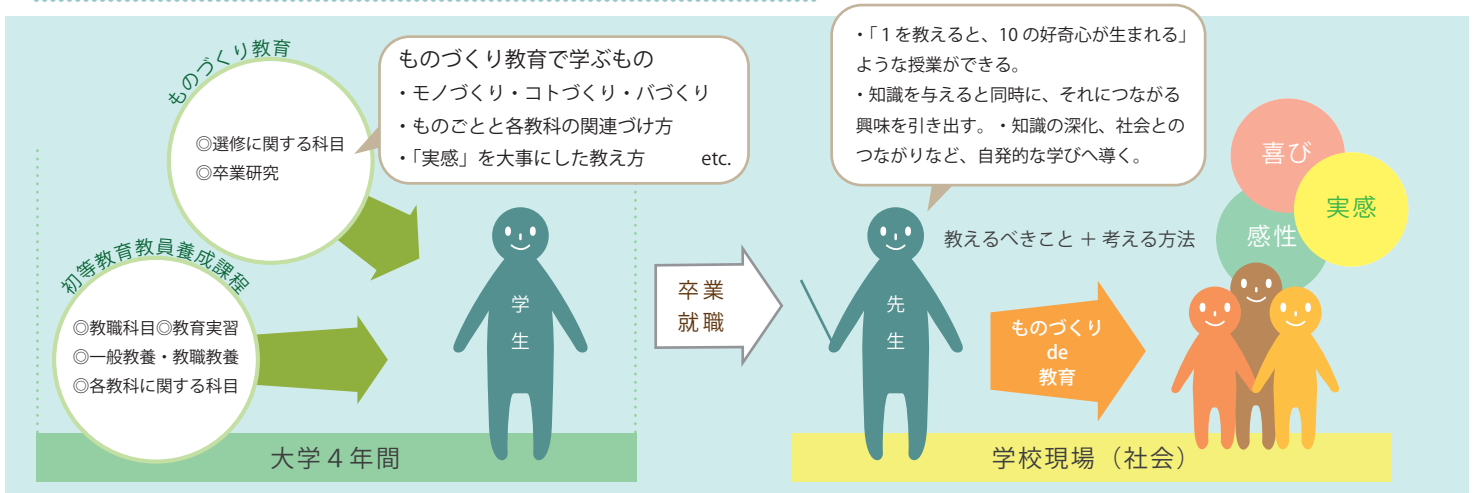
ものづくり教育選修がはじまります。この1年半に積み重ねてきた「東京学芸大学の、ものづくり教育」を、一期生が実践していきます。それぞれ力強い考え方をを持った6人の教員が一丸となり、学生を指導します。



本選修の6人の教員は、研究も年齢も考え方もそれぞれ異なります。ものづくり教育選修の「小学校教員の養成」に対して、それぞれが考えを重ね合わせて、その重なりを輪郭を描くように教育プログラムを作ってきました。

新入生たちが、この考えの重ね合わさった場を実感するのが「ものづくり教育演習」です。この演習では、受け身の学びではなく、自分のやりたいことを見出していかなくてはなりません。この週に1回のものづくり教育演習は、その後卒業研究へとつながる一歩です。指導教員は6人全員。どの先生のどの考えを利用し、どの技術を教えてもらうかの取捨選択は自分次第です。常に自分の目を、耳を、心を研ぎすませて、仲間の声を聞きながら、自分というものを築いていってほしいと願っています。

「ものづくり教育」で学生に備わるチカラ



「ものづくり教育」で子どもたちに与えるチカラ

前回「ものづくり教育」に接していく学生に備わるチカラについて図にまとめましたが、今回はさらに子どもたちに与えるチカラについて考えていきます。子どもたちの周りにはいろいろな大人がいて、さまざまな影響を与られます。子どもたちの身の回りの環境を整えてあげられるチカラも先生には必要だと考えられます。(新名)

初等教育教員養成課程では、「各教科に関する科目」として、誰もが小中学校で習ってきた知識をもう一度授業で学びます。しかし、ただ復習するだけではありません。過去に習った時との大きな違いは、何を目的に学んでいるかということです。例えばオームの法則を習う場合、ただ知識として学ぶ時と、教えるために学ぶ時とでは目的が異なり、学ぶべき要素も変わってきます。この目的の意識化は教員養成課程の全員に大切なことと言えますが、とくにものづくり教育では重要視します。「教えるため」に加えて「各教科とどうつなげて考えられるか」も並行して考慮できるように、まずは学生自身が学ぶチカラを身につけます。ものづくり教育では、実感に基づく学ぶ力と実行力を育てる取り組みをします。

様々な角度からの
知識や体験



作ることやコミュニケーションの喜び・実感

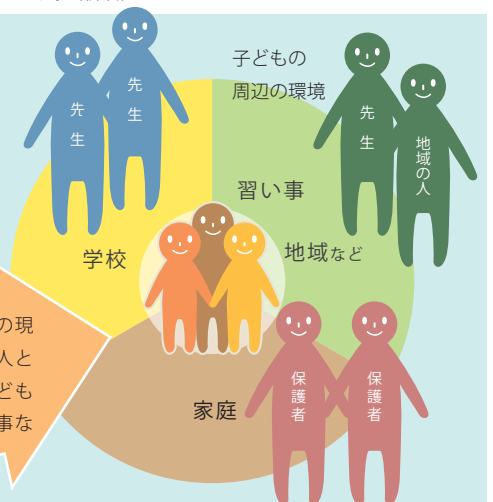


備わったチカラを
子どもたちへ

ものづくり
de
教育



教科間をつなぐ力は実際の現場に立ったときには、人と人をつなぐ力、ひいては子どもの周辺の環境を整える大事な力になっていきます。



ものづくり教育選修のアドミッションポリシー

本選修は、ものづくりの感性を育む学習活動を通して、ものと人、人と人とのつながりに目を向け、教科横断的に様々な場や出来事に主体的に働きかけることができる小学校教員を養成することを目的とし、チームワークや創意工夫、創造への積極的な構え、技能や緻密さへのこだわり、環境へのかかわり、自己肯定感や仕事・職業観の形成等に興味をもち、コミュニケーション力や協同性、構想力、創作力、表現力等の資質や能力を発揮したい人を求めています。

ものづくり教育選修の主要な授業を紹介します！

※今回ご紹介するのは必修科目の一部です。

1 年		2 年		3 年		4 年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
しごととものづくり	学びとものづくり	デザインとものづくり	あそびの世界とものづくり	道具とものづくり	教育実習(基礎)	教育実習(応用)	
	ものづくり教育と情報	ものづくり教育臨床	ものづくり教育と教材		ものづくり教育カリキュラム論		
ものづくり教育演習Ⅰ	ものづくり教育演習Ⅱ	ものづくり教育演習Ⅲ	ものづくり教育演習Ⅳ	ものづくり教育演習Ⅴ	ものづくり教育演習Ⅵ	卒業研究	卒業研究

◎ 5つのコア科目

当初から軸として考えられていた「しごととものづくり」「学びとものづくり」「デザインとものづくり」「あそびの世界とものづくり」「道具の世界とものづくり」を、専門教育の核となるコア科目として位置づけます。これらをすべて履修した後、3年次の秋には初めての実践の場として教育実習が待っています！

◎ 4年間をとおして指導教員は全教員です。

ものづくり教育演習は「プロジェクトを通じて、インタラクティブな行動のあり方、コミュニケーションの能力、技術、理論などを学ぶ」科目です。担当教員は、ものづくり教育メンバーの先生全員。それぞれの先生の得意とする分野の力を、学生本人が必要としたとき積極的に吸収できる機会を用意しています。いつでも力になってくれますよ。

◎ ワークショップのご案内 ◎

本日 13:00 START!!

ものづくり教育選修では、本日ワークショップを開催しています。タイトルは「紙のくにかから～10なつ～」。

小学生を対象にしたワークショップを運営している学生の姿を、受験生のみならずに見てもらおう！という企画です。このワークショップのために、何を題材にするか、誰を対象にするか、どうやって進めようか、どうやって人を集めようか？など様々な試行錯誤が行われてきました。「コトづくり」「場づくり」はこの選修ではとても大事な力だと考えられています。一期生が挑む最初の「場づくり」を、二期生候補の皆様にもぜひ見てもらいたいです。

つぎつぎと出てくる困難を乗り越えて、今日を迎えています。本番の今日も未知のアクシデントに遭遇するかもしれません！それをどう乗り越えるのか、悪戦苦闘するであろうみんなの姿や、楽しむ子どもたちの表情を見て、この学科の面白さを体験してもらいたいと思います。



● A 類ものづくり教育選修ワークショップ 2010年7月24日(土) 13:00～15:00 場所: 講義棟 C102 & 103

◀ 準備中の一期生。本番前日の切羽詰まり中の様子。

お待ちしております！

本報は、文部科学省の認定する「質の高い大学教育推進プログラム」を受け、『小学校教員養成のためのものづくり教育開発』活動報告も兼ねて情報をお伝えします。

国立大学法人 東京学芸大学 田中喜美 山田一美 坂口謙一 鉄矢悦朗 石井壽郎 大谷忠

ものづくり de 教育 Vol.20.5 (臨時特別号)
発行: 東京学芸大学 A 類ものづくり教育選修
Tel&Fax: 042-329-7658 (田中研究室)
URL: <http://www.u-gakugei.ac.jp/~monoedu>
発行日 2010/07/24 編集 専門研究員 新名佐和子